

## 「第四波のコロナ禍でのベトナム自動車業界」

中川 良一

新型コロナウイルス感染症対策の優等生として、本年早期の経済回復が見込まれ、予測GDP成長率も6%以上を予測していたベトナムですが、少し雲行きが怪しくなってきました。

### <上半期の車販売台数が急回復していた矢先>

2021年1月から6月迄の車の販売台数は、150,481台を達成し、2020年同期比40%増と急回復を見せていました。車種別では、乗用車37%増、商用車48%増、特殊車両68%増と、特に建設などで利用される特殊車両の販売台数が急激に増加しました。また、このうち国内生産車両の販売は29%増加、輸入車両は59%増加と輸入車の回復が目立ちます。

しかし、6月、ベトナム南部での新型コロナウイルス感染が急速に広がり、7月15日にはホーチミン市周辺で外出禁止措置などを伴う規制強化が始まりました。しかし、感染拡大の終息を見通すことが出来ず、8月15日に、規制期間が9月15日まで延長となりました。

このようなコロナ第四波の影響により、今年6月の車両販売数量にも影響が見られるようになりました。6月単月の全車両販売台数は、計23,587台で、内訳は乗用車15,802台（前月比10%減）、商用車7,131台（前月比5%減）、特殊車両654台（前月比25%減）、国内組立車は13,365台（前月比3%減）、輸入車10,222台（前月比13%減）となり、全車種で前月を下回る結果となっています。

### <VAMA加盟メーカー別にみる販売台数>

VAMA（ベトナム自動車工業会）加盟メーカーの6月販売台数は20,562台で、前年同期比12%減、前月比7%減となっています。加盟メーカー別では、Truong Hai Motor 7,689台（シェア37.4%：前年同期比2%減、前月比11%減）、トヨタ5,127台（シェア24.9%：前年同期比15%増、前月比増減無）、三菱1,824台（シェア8.9%：前年同期比37%減、前月比3%減）、ホンダ1,550台（シェア7.5%：前年同期比51%減、前月比9%増）との結果になっています。

現在、ベトナム国内自動車部品工場での生産も、コロナ関連規制による通勤制限により、工場稼働率が大幅に落ち込み、日本への自動車部品輸出にも大きな影響が出ています。

### <18歳以上の人口99%に対しワクチン接種予定>

ファム・ミン・チン首相は8月中にホーチミンを中心に18歳以上の人口99%に対しワクチン接種を加速させ、早急に拡大沈静化を計る予定です。夜間接種も行い最大1日20万人に接種可能となるそうです。在留日本人への接種も徐々に進んでいますが、8月9日に接種を受けた日本人駐在員が、翌日亡くなるという事態も発生し、現地での接種を心配する日本人駐在員も多くおられます。（この死亡例は、ワクチン接種によるものかどうか、現在調査中です。）

今後の自動車業界状況は、コロナ感染拡大防止次第ということで、現状ではまだ見通しが立てづらい状況が続いています。



【急がれるワクチン接種】